



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社サンセイラニディック 上場取引所 東
 コード番号 3277 URL <http://www.sansei-l.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 隆司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 永田 武司 (TEL) 03-3295-2200
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	5,696	△19.7	325	△56.5	256	△59.1	104	△72.4
26年12月期第3四半期	7,091	25.6	747	581.9	626	—	378	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 104百万円 (△72.4%) 26年12月期第3四半期 378百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	13.07	12.87
26年12月期第3四半期	54.92	54.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	11,537	5,415	46.9
26年12月期	8,792	5,261	59.8

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 5,415百万円 26年12月期 5,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年12月期	—	3.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	7.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,162	6.9	1,242	3.2	1,139	9.1	705	12.6	89.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	8,108,500株	26年12月期	7,915,000株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	148株	26年12月期	148株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	8,013,520株	26年12月期3Q	6,899,852株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢や企業収益の改善に伴う個人消費の増加傾向が続く、堅調な国内需要に支えられて緩やかな景気回復を続けております。中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクはあるものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、今後も緩やかに回復していくことが予想されます。

当社グループが属する不動産業界におきましては、住宅建設が持家、貸家、分譲住宅の着工とも、底堅い動きとなっており、今後も不動産市況は、堅調に推移することが見込まれます。

仕入につきましては、今後の利益の源泉となる物件の仕入拡大を図り、販売用不動産は、8,700百万円に積み上げることができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,696百万円（前年同期比19.7%減）となり、営業利益325百万円（前年同期比56.5%減）、経常利益256百万円（前年同期比59.1%減）、四半期純利益104百万円（前年同期比72.4%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

① 不動産販売事業

不動産販売事業におきまして、底地、居抜き物件を中心に仕入は順調に増加したものの、前期に比較して当期仕入案件のうち、当第3四半期に販売出来る物件が少なかったため、当第3四半期連結累計期間においては、底地215件、居抜き13件、所有権物件10件の販売となりました。その結果、売上高は4,993百万円（前年同期比18.0%減）となり、セグメント利益は952百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

② 建築事業

建築事業におきましては、戸建・リフォーム工事等111件の販売をいたしました。その結果、売上高は723百万円（前年同期比29.0%減）となりセグメント損失は109百万円（前年同期は56百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ2,674百万円増加し、10,510百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少1,035百万円、売掛金の増加93百万円、販売用不動産の増加3,533百万円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ69百万円増加し、1,026百万円となりました。これは、主に無形固定資産の減少14百万円、投資その他の資産の増加91百万円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ2,343百万円増加し、5,508百万円となりました。これは、主に買掛金の減少109百万円、短期借入金の増加2,672百万円、その他の流動負債の減少287百万円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ246百万円増加し、613百万円となりました。これは、主に社債の減少24百万円、長期借入金の減少73百万円、その他の固定負債の増加342百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ153百万円増加し、5,415百万円となりました。これは、資本金の増加48百万円、資本剰余金の増加48百万円、利益剰余金の増加56百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日に発表した通期業績予想につきましては、第4四半期の販売が順調に進捗しているため、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

・棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算方法

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,275,677	1,240,109
売掛金	91,221	184,510
販売用不動産	5,166,694	8,700,376
未成工事支出金	3,901	37,220
貯蔵品	9,431	5,435
その他	293,950	349,435
貸倒引当金	△5,258	△6,669
流動資産合計	7,835,617	10,510,419
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産	511,242	511,463
減価償却累計額	△64,526	△70,660
賃貸不動産（純額）	446,716	440,802
その他	156,727	155,447
有形固定資産合計	603,443	596,250
無形固定資産	96,086	81,560
投資その他の資産		
その他	298,784	389,948
貸倒引当金	△41,122	△41,121
投資その他の資産合計	257,661	348,826
固定資産合計	957,192	1,026,637
資産合計	8,792,809	11,537,056
負債の部		
流動負債		
買掛金	452,263	343,252
短期借入金	1,957,769	4,630,500
賞与引当金	—	67,200
その他	754,611	467,298
流動負債合計	3,164,644	5,508,250
固定負債		
社債	104,500	80,000
長期借入金	211,800	138,485
資産除去債務	4,356	7,107
その他	45,989	388,014
固定負債合計	366,645	613,607
負債合計	3,531,289	6,121,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	661,450	709,825
資本剰余金	622,450	670,825
利益剰余金	3,977,672	4,034,602
自己株式	△53	△53
株主資本合計	5,261,519	5,415,198
純資産合計	5,261,519	5,415,198
負債純資産合計	8,792,809	11,537,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	7,091,656	5,696,415
売上原価	4,783,261	3,664,799
売上総利益	2,308,394	2,031,615
販売費及び一般管理費	1,560,446	1,706,595
営業利益	747,948	325,020
営業外収益		
受取利息	1,557	794
受取配当金	109	109
その他	10,371	11,689
営業外収益合計	12,037	12,593
営業外費用		
支払利息	81,974	70,654
支払手数料	5,603	5,003
その他	46,044	5,648
営業外費用合計	133,622	81,306
経常利益	626,363	256,307
税金等調整前四半期純利益	626,363	256,307
法人税等	247,395	151,542
少数株主損益調整前四半期純利益	378,968	104,764
四半期純利益	378,968	104,764

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	378,968	104,764
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	378,968	104,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	378,968	104,764
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,088,523	1,003,132	7,091,656	—	7,091,656
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15,917	15,917	△15,917	—
計	6,088,523	1,019,049	7,107,573	△15,917	7,091,656
セグメント損益(△は損失)	1,246,093	△56,514	1,189,578	△441,630	747,948

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント損益の調整額△441,630千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,993,884	702,531	5,696,415	—	5,696,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	20,814	20,814	△20,814	—
計	4,993,884	723,346	5,717,230	△20,814	5,696,415
セグメント損益(△は損失)	952,076	△109,606	842,470	△517,450	325,020

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント損益の調整額△517,450千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建築事業	967,574	76.9	491,152	74.9

- (注) 1. 建築事業以外は受注を行っておりません。
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 4. 上記の金額は、販売価額により表示しております。

② 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント	区画数	前年同期比(%)	仕入高(千円)	前年同期比(%)
不動産販売事業	410	131.4	6,641,862	218.5
うち底地	337	120.8	3,025,785	181.5
うち居抜き物件	50	217.4	3,359,511	306.8
うち所有権	23	230.0	256,565	92.6

- (注) 1. 不動産販売事業以外は仕入を行っておりません。
 2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
 3. 「区画数」については、底地の場合は借地権者の人数など、物件の仕入時に想定される販売区画の数量を記載しております。
 4. 底地・居抜き物件・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「うち底地」に、居抜き物件と所有権のみが混在する物件は「うち居抜き物件」に含めて記載しております。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント	件数	前年同期比(%)	販売高(千円)	前年同期比(%)
不動産販売事業	238	100.8	4,993,884	82.0
うち底地	215	108.6	3,292,061	114.7
うち居抜き物件	13	68.4	1,111,603	48.9
うち所有権	10	52.6	307,387	43.9
その他の不動産販売事業	—	—	282,831	115.2
建築事業	111	70.7	702,531	70.0
合計	—	—	5,696,415	80.3

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間取引については相殺消去しております。
 3. 「件数」については、不動産販売事業においては売買契約、建築事業においては受注契約の件数を記載しております。
 4. 底地・居抜き物件・所有権の区分については、仕入時の区分により記載しております。仕入後に権利調整により底地から所有権に変わった区画等に関しては、仕入時の区分に基づき底地に含めて記載しております。また、底地・居抜き物件・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「うち底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「うち居抜き物件」に含めて記載しております。
 5. 「その他の不動産販売事業」は、地代家賃収入、仲介手数料による収入、業務受託手数料収入等であります。
 6. 建築事業の件数・販売高につきましては、リフォーム工事・改築工事等の件数・金額を含んでおります。